

事業所名

KIND USHIKU

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

31日

法人（事業所）理念		「人に優しく」										
支援方針		・個々の障害特性や人格に理解と共感を示しながら、適切な介入を図り、個人の達成感や肯定感を養います。 ・生活における状況を保護者や関連機関と共有しながら、より良い生活環境を形成できるように努めます。 ・「自分でできること」を増やし、高校卒業時点での進路における選択肢を可能な限り増やします。										
営業時間		10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	・基本的な行動（私物の管理、共有物の利用方法、感染対策、車の正しい乗車方法、交通ルールなど）を行う中で、個人の不得意事項の解消に向けた支援と環境設定を行います。 ・食事や排泄の場面においては家庭における状況を保護者と共有しながら個人の負担にならないように支援介入を行っていきます。										
	運動・感覚	・時期や天候に配慮しながら可能な限り外で体を動かせる機会を設け、基礎体力の向上と運動不足解消に努めます。 ・危険箇所（遊具や高低差あるところ）を支援者介入のもと、実際に状況に触れることで危険に対する認識力の向上が図れるように支援していきます。										
	認知・行動	・活動の予定や当日の役割を可視化することで行動予定を確立し、個人の不安解消と責任感の形成に繋げていきます。 ・個人の苦手とする環境（騒がしい場面や暗いところなど）に配慮するため状況に応じて環境の調整、活動内容の変更や修正、個別対応を行います。 ・個々に応じた学習の提供を行う中で物の名前や文字、数字やお金の理解を深めていきます。										
	言語 コミュニケーション	・人と関わる時や困りごとが生じたときに必要になる言動を個人の特性を加味した上で習得できるよう多くの場面に随時、介入しながら伝えていきます。 ・間違った言動で相手に不快な思いをさせたときは、行動の否定や注意で終えるのではなく、どうする事が正解だったのかを併せて伝えていきます。 ・自分の言動で相手が満たされた時にはその言動を称賛し、自己肯定感の向上に繋げていきます。										
	人間関係 社会性	・多くの公共の場（交通機関、公園、店舗など）により多く外出し、その場に応じたルールの認識や順番、危険箇所の把握、してはいけない事を学んでいきます。 ・交通ルールの認識取得を図るために実際に地域を歩きながら学ぶ機会を作ると同時に地域内における利用者の存在を認知してもらえるよう働きかけます。										
家族支援		・療育支援、子育ての相談、家庭での困りごとに対する相談援助を行っていく中で必要性があれば関連機関も含めて調整して行きます。				移行支援		・将来的な進路選択に関する情報を保護者と共有し、時期と目標を設定しながら支援していきます。				
地域支援・地域連携		・安心した生活環境と支援環境を確立できるように関連機関との連携を図りながら情報の共有に努めていきます。				職員の質の向上		・法定研修、資質向上を図るための研修を随時、行っています。 ・事業所全体で統一した支援提供と情報共有を図るために毎月、全体会議を開催していきます。				
主な行事等		・季節に応じた制作品の作成・買い物練習・調理練習・遠足・プール活動・公共機関（電車、バス）を利用した外出・避難訓練（年2回）・その他										